

e + i M e c 講習会【橋梁点検（基礎編）】の受講
及び准橋梁点検技術者認定試験の手引き

2026年度版

独立行政法人国立高等専門学校機構

香川高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター

1. 本講習会の目的

本講習会は、地方自治体が管理する道路橋（鋼橋及びコンクリート橋）のうち一般的な橋梁形式のものについて、道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）に基づき実施する点検業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有する技術者を養成することを目的としています。

本講習会は、准橋梁点検技術者養成講座であり、全課程を修了した者は、准橋梁点検技術者認定試験を受験することができます。准橋梁点検技術者とは、独立行政法人国立高等専門学校機構が認定する技術資格です。

2. 2026年度 e + i M e c 講習会【橋梁点検（基礎編）】開催予定

（1）開催日程

開催回	講習会日	eラーニング（開始日）
第1回	5月21日(木)～5月22日(金)	4月28日(火)
第2回	7月2日(木)～7月3日(金)	6月10日(水)
第3回	9月15日(火)～9月16日(水)	8月24日(月)

（2）実施場所（講習会）

香川高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター及び高松市内橋梁

（3）カリキュラム

別添1（e + i M e c 講習会【橋梁点検（基礎編）】カリキュラム）のとおり実施します。

なお、本講習会はeラーニングと講習会を組合せた構成としているため、eラーニング修了証が無いと講習会を受講できません。eラーニングは【基礎編】を受講（約9時間）。【導入編】は任意。別添2参照。eラーニング修了証は、指定のeラーニングコースの全講座を受講してチェックテストを全問正解した方に対して発行されます。

3. 受講者の募集

（1）募集人数

各回10名

※受講者の選定は申込み先着順とします。

※講習会開催の最小催行人数（5名）に達しなかった場合には中止となる可能性があります。

(2) 受講条件 (対象者)

次の①②③④のいずれかに該当することとします。

- ① 大学及び高等専門学校の建設系学科の学生
- ② 建設業、建設コンサルタント業務等を実施する民間企業に所属する技術者
- ③ 行政機関に所属する建設系技術職員
- ④ ①～③以外で、橋梁に関する初歩的な知識を修得していると認められる者

(3) 募集期限

原則、各開催回 e ラーニング開始前日とします。

(4) 申込方法

i M e c ホームページ (<https://www.kagawa-nct.ac.jp/imec/>) の講習会の予約からお申込みください。講習会の予約から受講までの流れについては、別添3を参照してください。

(5) 受講料

受講者1名につき44,000円(税込)

※支払方法等は受講申込受付後にご案内します。

※キャンセルに伴う受講料の返金はありません。

4. 准橋梁点検技術者認定試験

(1) 受験資格

e + i M e c 講習会【橋梁点検(基礎編)】の全課程を修了した受講者は、准橋梁点検技術者認定試験を受験することができます。

(2) 試験で確認する知識及び技能

- ・ 橋梁工学に関する知識及び道路構造物の損傷に関する知識を有すること。
- ・ 一般的な橋梁形式の道路橋について、道路橋定期点検要領(国土交通省道路局)に基づき実施する点検業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有すること。

(3) 実施方法

試験は、選択式問題とし、i P a d (貸出) を用いて解答いただきます。

出題数は30問、制限時間は45分です。

(4) 実施日及び実施場所

実施日は、講習会の最終日とします。

実施場所は、香川高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センターとします。

(5) 合格基準

准橋梁点検技術者資格認定試験の合格基準は、別紙：技術レベル認定基準4-(1) 准橋梁点検技術者認定試験のとおりです。

(6) 准橋梁点検技術者登録申請

資格認定試験合格者には、登録申請の案内をメールにて送付します。

登録申請の案内は、受講した講習会により、年4回に分けて実施する予定です。

<u>第1回</u>	<u>2026年 6月中旬</u>
<u>第2回</u>	<u>2026年 9月下旬</u>
<u>第3回</u>	<u>2026年12月中旬</u>
	<u>2027年 2月中旬</u>

なお、合格者名簿は、舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センターにおいて閲覧することができます。

<お問い合わせ先>

香川高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター

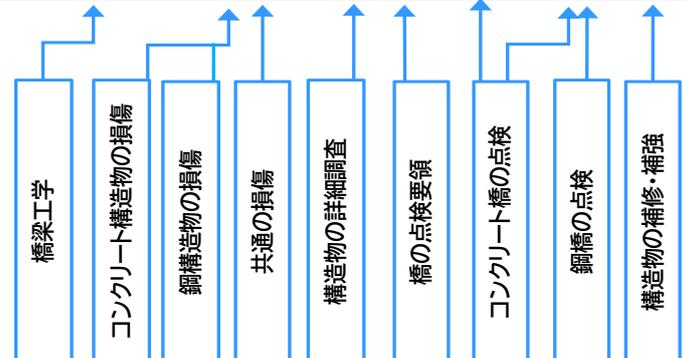
住所：〒761-8058 高松市勅使町 355

電話：087-869-3933（直通）（10：00-17：00（月）（水）（金））

eメールアドレス：imec@t.kagawa-nct.ac.jp

e-learning

講座名



〈凡例〉

e-learning 講座単位

座学(講義)

体験型学修

iMec講習会【橋梁点検(基礎編)】				
限	時間(分)	項目	内容	日
-	9:00-10:10 (70)	講習会ガイダンス	スケジュール、全体注意事項、受講者交流、本講座の位置付けの理解	1日目
1	10:20-12:00 (100)	橋梁工学	概説、桁(梁)構造・支持方式の基本的理解、RC・鋼・下部構造物の基本的理解、アセットマネジメント	
2	13:00-14:30 (90)	コンクリート・鋼構造物の基本	PC橋の基本的理解、部材の変状と劣化原因の理解、損傷の確認【於:室内】	
3	14:40-16:35 (115)	コンクリート・鋼構造物の変状と対策	上部工・支承・舗装・附属物等の実物劣化教材の解説、実物劣化教材の変状の確認【於:実習フィールド】	
4	16:45-17:50 (65)	詳細調査手法	鉄筋探査、打音検査、赤外線検査、強度推定試験、中性化深さ確認試験	2日目
5	9:00-9:20 (20)	現場実習ガイダンス	道路橋定期点検要領のポイントの理解、実習橋梁諸元、現場実習の注意事項	
6	9:50-10:30 (40)	実橋梁の点検(1)	現場実習【於:成合橋(RC橋:ガルバー有)】	
7	10:40-12:00 (80)	実橋梁の点検(2)	現場実習【於:中森橋(PC橋)/中森大橋(鉸桁橋)】	
8	12:50-13:35 (45)	補修・補強の基本	コンクリート橋・鋼橋の補修及び補強の解説	2日目
9	13:35-14:50 (75)	維持管理計画	維持管理計画の概説・演習(グループワーク)、振り返り	
10	15:00-16:15 (75)	准橋梁点検技術者認定試験	選択問題30問(説明・試験・解説確認)、アンケート記入	
-	16:15-16:30 (15)	修了式	修了証の交付、他	

(別添2)

(講習会前のeラーニング)

eラーニング講座名	学修内容	目安時間
橋梁点検【導入編】 (任意)	1. 橋梁工学基礎 (その1) 2. 橋梁工学基礎 (その2)	約30分×2
橋梁点検【基礎編】 (必須)	1. 橋梁工学 2. コンクリート構造物の 損傷 3. 鋼構造物の損傷 4. 構造物の補修・補強 5. 共通の損傷 6. 橋の点検要領 7. 鉄橋の点検 8. コンクリート橋の点検 9. 構造物の詳細調査	約60分×9

※受講期間・回数に制限なし。継続学修としても利用可能。

e + i Mec 講習会の予約から受講までの流れ

